

鳴滝通信

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和2年12月22日
京都市立鳴滝総合支援学校
校長 玉 梶 香 織

今年も残り9日となり、いろいろな意味で「特別な」1年が終わろうとしています。そして明後日24日からは、楽しみにしている冬休みが始まります。

1年の疲れを癒すため、ゆっくりのんびり過ごす時間もとりたいですね。また、ぜひこの休み中、しっかりと今年の振り返りもしましょうね。学習のこと、家庭生活のこと、余暇に関することなど、1つ1つ整理することで、来年に向けての「目標」や「頑張りたいこと」が見えてくるかと思います。

「新しい1年をどんな年にしたいか。」それぞれが目標を持ち、気持ち新たに令和3年をスタートできるよう、有意義な年末年始を過ごしてください。

今年の漢字～鳴滝編～

1年を振り返り、今年の漢字「鳴滝編」をたずねてみました。学年や学部（学科）代表者の選んだ漢字です！それぞれの想いが一文字に表れています！

数

もっとむずかしい計算問題に
チャレンジしたいからです！
【小学部・高等部普通科】

変

コロナ禍で時差登校になったり、
ソーシャルディスタンス・フェイス
シールドをつけなければいけなくな
った。 【生活産業科 1年】

休校期間がありましたので、
この漢字を選びました。

【生活産業科 2年】

休

3年生になり、実習に行き、最初は
緊張・不安がありましたが、日にちを
重ねて一歩ずつ進んでいくことで、
作業ができるようになり成長できた
と思いました。 【生活産業科 3年】

進

新

コロナ禍で、知見を積んだ後に考え出された新しい生活様式にちなんで。
【玉 梶 校長先生】

施設見学をしました

生活産業科2,3年生が施設見学として、「京都市北部資源リサイクルセンター」（2年生）、「京都障害者就業・生活支援センター」「京都障害者職業相談室」「京都障害者職業センター」（3年生）を訪れました。

卒業後に「働くことを中心とした生活」をおくるにあたり、それぞれの施設の具体的な活動の様子・支援内容を知り、自分の進路について考える機会となりました。



京都市北部資源リサイクルセンター



京都障害者職業相談室
京都障害者職業センター



京都障害者就業・生活支援センター

ご挨拶



事後学習の様子

日頃から、本校の教育活動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

明後日24日（木）から冬季休業期間に入ります。引き続き健康観察票を活用した健康観察、そしてウイルス感染拡大防止対策を徹底し、体調にはくれぐれもお気をつけくださいませ。

新年も引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

皆さま、よいお年をお迎えください。

